

第66期 報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1P	株主の皆様へ コア事業をさらに強化し、 加工・物流機能の充実を図る!
3P	進化し続けるOUGグループ 良質で安全・安心な水産物の 安定供給を目指し、 進化するOUGグループの養殖事業!
5P	財務の概況
7P	会社情報 株式の状況
8P	Information 株主優待制度



代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚く
お礼申しあげます。

さて、当社第66期（平成23年4月
1日から平成24年3月31日まで）の
事業および財務の概況のご報告を
申しあげます。

平成24年6月

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災で混乱したサプライチェーン（供給網）の復旧に伴う生産の回復や今後本格化する復興需要を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の減速や円高などの影響により輸出や生産の動きは弱く足踏み状態が続いております。また、雇用・所得環境は一部に改善の動きがみられるものの依然厳しく、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識から購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当連結会計年度の売上高は販売数量の確保に注力し3,207億87百万円（前年同期比100.5%）となりました。

損益面では、水産物の調達コストの上昇などの影響による売上総利益率の低下から売上総利益は226億72百万円（前年同期比98.6%）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について節減等効率化を進めましたが10億17百万円（前年同期比85.6%）、経常利益は12億96百万円（前年同期比82.6%）となりました。当期純利益は繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の減少などにより13億53百万円（前年同期比123.6%）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

コア事業をさらに強化し、 加工・物流機能の充実を図る！

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は取扱数量の増加、販売単価の上昇などにより2,021億87百万円(前年同期比101.1%)、セグメント利益は調達コストの上昇などにより7億28百万円(前年同期比93.3%)となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は消費低迷などによる販売数量の減少などにより1,172億58百万円(前年同期比99.8%)、セグメント利益は間接経費全般の節減に努め2億43百万円(前年同期比175.2%)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は、ハマチ、ブリについては拡販に努め販売数量は増加しましたが、全国的な在池量の増加による養殖ブリの販売単価の下落により70億46百万円(前年同期比99.0%)、セグメント利益は給餌効率の改善などに努めましたが販売単価の下落を吸収できず26百万円(前年同期比6.7%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は、新規顧客の開拓に努め、また、9月より生産を開始した「定塩鮭冷凍加工」の販売が寄与し35億24百万円(前年同期比109.2%)、セグメント利益は、米などの原材料価格の高騰や加工設備を増強投資したことに伴う減価償却費等製造費用の増加などにより2億17百万円の損失(前年同期2億80百万円の損失)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店

等の配送先別に仕分けをし自社便にて配送を行う物流事業の売上高は、通過物量の減少などにより21億44百万円(前年同期比90.6%)、セグメント利益は83百万円の損失(前年同期66百万円の損失)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は43億69百万円(前年同期比109.5%)、セグメント利益は8百万円の損失(前年同期14百万円の利益)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、欧州債務危機、原油価格の高騰、電力の供給制約など景気下振れ要因もあり、景気回復に向け先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、景気先行きの不透明感から消費者の購買意欲は低迷したまま低価格志向が浸透し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」の営業基盤の強化を図り、グループ連携による相乗効果の具現化に向けて、グループ内の加工機能、物流機能の強化を推進し、グループ情報基盤の整備や人材育成の強化などにより、全体最適経営の基盤固めに努めるとともに新たな成長を目指してまいります。

当社グループは、生産者から消費者までの水産物流通トータルシステムである新しい水産物流通サービス業を創造し、消費者に安全・安心を提供することにより、社会に貢献することを通じて企業価値を最大化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

良質で安全・安心な水産物の安定供給を

■コア事業をサポートする「養殖事業」

当社グループは、「水産物荷受事業」と「市場外水産物卸売事業」の2つのコア事業を中心に、「養殖事業」、「食品加工事業」、「物流事業」、「保険・リース事業」を加えた6つの事業を展開しております。今回は、コア事業を支える「養殖事業」についてご紹介します。

養殖事業 株式会社 兵 殖

株式会社兵殖は九州、四国を拠点に7つの養殖場を展開し、ハマチやブリ、クロマグロといった大型の魚を中心に養殖事業を営んでおります。

兵殖の「ひろびろいけす（縦60m×横40m×深さ20m）」で育てられたブリは、運動量が豊富なので、ほどよく脂が乗り、身が締まっていると、お客様から高い評価をいただいております。

また、漁場から加工場に至る全ての生産ラインで全国初となる国際認証機関（SGS）のHACCP認証を取得しております。

兵殖は年間150万尾のブリを養殖し、フィーレ加工から販売までを手がける全国でも最大級のブリ養殖企業です。製品は、主に国内の量販店を通じお客様へ販売されております。また、米国をはじめ香港やシンガポール、タイなどのアジア諸国へも輸出を行っております。

OUGグループ

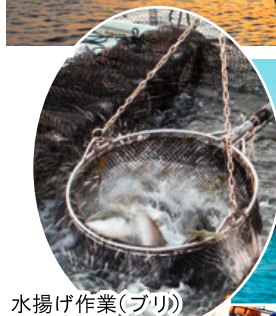
OUGホールディングス(株)

- ◆ 水産物荷受事業 (株)うおいち
- ◆ 市場外水産物卸売事業 (株)シヨクリュー
- ◆ 養殖事業 (株)兵 殖
- ◆ 食品加工事業 関空トレーディング(株) ダイワサミット(株) トウニチ水産 (株)トウニチ水産
- ◆ 物流事業 舞洲流通センター(株)
- ◆ 保険・リース事業 (株)トップ



「ひろびろいけす」

自動投餌機による給餌作業



水揚げ作業(ブリ)



目指し、進化するOUGグループの養殖事業！



また、兵殖は平成19年から技術的に困難とされていた、「クロマグロ」の養殖に本格的に取り組んでおります。

クロマグロを効率よく成長させるため、これまで培ってきたノウハウをもとに、栄養面や漁場環境に配慮した人工飼料の開発など、日々、安全・安心面を追求した飼育方法の研究に、飼料メーカーと協力して取り組んでおります。

兵殖のクロマグロは、身質が良く、ほどよい脂の乗りで味も良く、お客様から高い評価をいただいております。

また、出荷数量は、前期は7,000本、当期は8,000本と徐々に増やし、来期は、10,000本の出荷を目標としております。

兵殖は、水産資源の枯渇化などの環境変化に対応し、良質で安全・安心な水産物の安定供給を目指し、進化するOUGグループの養殖事業会社として常に新たな進化を求めて邁進してまいります。



「兵殖本マグロ」として出荷

財務の概況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	49,371	45,681
現金及び預金	2,182	2,349
受取手形及び売掛金	29,055	26,512
リース債権及びリース投資資産	47	70
商品及び製品	16,958	16,212
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	128	97
繰延税金資産	655	445
その他	622	935
貸倒引当金	△ 279	△ 944
固定資産	20,968	20,946
有形固定資産	12,112	12,313
建物及び構築物	3,257	3,303
機械装置及び運搬具	1,061	1,157
工具、器具及び備品	220	169
土地	7,022	7,022
リース資産	550	659
無形固定資産	2,897	2,489
ソフトウェア仮勘定	2,747	2,316
その他	150	173
投資その他の資産	5,958	6,143
投資有価証券	4,908	4,982
関係会社株式	64	64
長期貸付金	100	146
破産更生債権等	1,789	1,220
繰延税金資産	105	186
その他	836	894
貸倒引当金	△ 1,846	△ 1,351
資産合計	70,340	66,628

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	41,791	38,539
支払手形及び買掛金	20,152	17,469
短期借入金	15,795	15,550
1年内返済予定の長期借入金	1,291	1,399
リース債務	707	446
未払法人税等	120	355
未払消費税等	186	12
賞与引当金	705	719
その他	2,832	2,585
固定負債	12,707	13,512
長期借入金	6,768	6,924
リース債務	1,967	2,284
繰延税金負債	477	413
再評価に係る繰延税金負債	380	433
退職給付引当金	2,450	2,396
役員退職慰労引当金	68	48
資産除去債務	150	158
負ののれん	42	408
長期末払金	38	38
その他	362	406
負債合計	54,499	52,052

純資産の部

株 主 資 本	15,788	14,771
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	3,382	2,363
自己株式	△ 243	△ 241
その他の包括利益累計額	46	△ 201
その他有価証券評価差額金	374	178
繰延ヘッジ損益	△ 3	△ 2
土地再評価差額金	△ 324	△ 377
少数株主持分	5	6
純資産合計	15,840	14,575
負債・純資産合計	70,340	66,628

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		〔自平成23年4月1日 至平成24年3月31日〕	〔自平成22年4月1日 至平成23年3月31日〕
売 上	高	320,787	319,127
売 上 原 価		298,115	296,128
売 上 総 利 益		22,672	22,999
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		21,654	21,810
営 業 利 益		1,017	1,189
営 業 外 収 益		766	799
受取利息		11	11
受取配当金		119	124
負ののれん償却額		365	392
その他		269	270
営 業 外 費 用		486	418
支払利息		345	272
持分法による投資損失		—	1
貸倒引当金繰入額		70	78
その他		71	65
経 常 利 益		1,296	1,569
特 別 利 益		138	526
投資有価証券売却益		138	340
固定資産売却益		—	37
受取保険金		—	35
その他		—	113
特 別 損 失		72	470
投資有価証券評価損		53	65
固定資産除却損		19	38
災害による損失		—	135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		—	65
減損損失		—	39
関係会社株式評価損		—	20
その他		—	105
税金等調整前当期純利益		1,363	1,626
法人税、住民税及び事業税		75	341
法人税等調整額		△ 65	185
法人税等合計		9	527
少数株主損益調整前当期純利益		1,353	1,098
少数株主利益		△ 0	3
当 期 純 利 益		1,353	1,095

注記事項 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 少数株主利益の△印は、損失を表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資 本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成23年4月1日残高	6,495	6,153	2,363	△ 241	14,771
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 327		△ 327
当期純利益			1,353		1,353
連結範囲の変動			△ 5		△ 5
自己株式の取得				△ 2	△ 2
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,019	△ 2	1,017
平成24年3月31日残高	6,495	6,153	3,382	△ 243	15,788

	その他の包括利益累計額				少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	その他の包括 利益累計額合計		
平成23年4月1日残高	178	△ 2	△ 377	△ 201	6	14,575
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 327
当期純利益						1,353
連結範囲の変動						△ 5
自己株式の取得						△ 2
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	196	△ 0	52	248	△ 0	247
連結会計年度中の変動額合計	196	△ 0	52	248	△ 0	1,264
平成24年3月31日残高	374	△ 3	△ 324	46	5	15,840

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		〔自平成23年4月1日 至平成24年3月31日〕	〔自平成22年4月1日 至平成23年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		921	△ 484
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 277	115
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 797	112
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 153	△ 256
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,314	2,571
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		6	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高		2,167	2,314

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報 (平成24年3月31日現在)

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 34名

役員の体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	下川真二
	取締役	村松保範
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	薄波卓郎
監査役	常勤監査役	谷和道雄
	監査役	村中義美 (社外監査役)
	監査役	岡本宏孝 (社外監査役)
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
相談役	相談役	溝上源二
顧問	顧問	竹西俊之助
	顧問	
執行役員	常務執行役員	原田史郎
	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	玉田耕也
	執行役員	

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

株式の状況

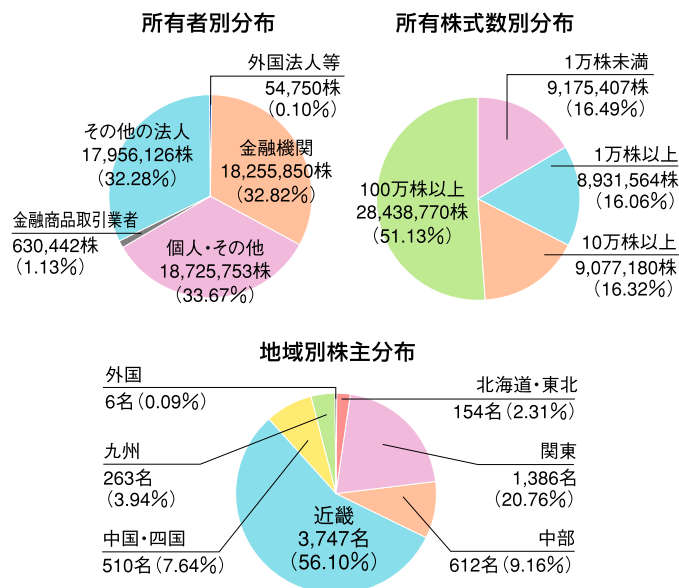
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	6,678名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハニチロホールディングス	7,450	13.51
日本生命保険相互会社	3,680	6.67
農林中央金庫	2,636	4.78
株式会社 みずほ銀行	2,000	3.63
株式会社 りそな銀行	1,842	3.34
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.16
中央三井信託銀行 株式会社	1,600	2.90
三菱UFJ信託銀行 株式会社	1,519	2.75
丸紅 株式会社	1,510	2.74
株式会社 大丸松坂屋百貨店	1,154	2.09

(注) 1. 持株比率は、自己株式(478,344株)を控除して計算しております。
 2. 中央三井信託銀行株式会社については、平成24年4月1日付で合併により三井住友信託銀行株式会社に商号が変更しております。

株式分布



◆ Information ◆

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度

(1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元(1,000株)以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
 - 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈
- 数種類の品目より選択していただけます。

(3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。



「瀬付きアジ」と「のどぐろ」の干物セット
(3,500円相当)



味付けいくら
(3,500円相当)



ずわいかにしゃぶ
(7,000円相当)



汐紅鮭姿切
(7,000円相当)

昨年、ご好評いただいた優待の人気商品!

単元未満株式の買取請求について

(1) 買取請求について

単元株(当社の場合 1単元:1,000株)に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取るよう請求することができます。

(2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。(株主メモをご参照ください。)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)<http://www.tr.mufig.jp/dai kou/>

上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご利用ください。

COMPANY PROFILE

GROUP VISION



TOP PAGE

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>